



## ゆきみらい2019 in 新庄

『雪とまつりの HISTORY』 ～雪国救済運動発祥の地、新庄から未来へ～

雪国における克雪技術および利雪・親雪等の現状や課題、雪に強い地域づくり、雪国文化を活用した産業・観光振興や新たな技術開発など、様々な取組みに対する意見交換や情報発信、そして地域の活性化を目的に2月7日、8日の2日間の日程で、新庄市を会場に開催しました。



### ■特別講演<新庄市民文化会館>

気象予報士・防災士の國本未華さんより「暮らしに役立つ雪予報—雪の魅力を知り、楽しみ、備える」と題したご講演をいただきました。



### ■除雪機械展示・実演

<JR 新庄駅東口駐車場>

除雪機械の最先端の技術を披露し、機械の技術革新や除雪事業の仕組みを紹介しました。



### ■パネルディスカッション<新庄市民文化会館>

山形大学の東山禎夫教授をコーディネーターに、新庄市雪の里情報館の齋藤秀二館長をはじめ5名のパネラーが雪の研究や今の暮らしに役立つ内容を紹介し、さらに魅力ある未来の雪国のあり方について議論しました。

建設総務課 29-1391



### ■見本市<ゆめりあ>

～花と緑の交流広場～

雪氷技術や情報、東北に暮らす人々の文化・知恵などを、企業・団体・行政が展示により紹介し、情報交流・全国発信の場となりました。

## 最上地域大雨災害復旧推進会議を設置しました

最上地域に甚大な被害をもたらした平成30年8月の大雨災害について、最上総合支庁では最上地域大雨災害対策本部を設置し、被害の把握、市町村への支援の検討、復旧に向けた調整等を行ってきました。昨年末までに国による災害査定が完了したことなどから、今後は、本格的な復旧事業を円滑に進めるため、1月31日に災害対策本部を廃止し、新たに「最上地域大雨災害復旧推進会議」を設置しました。

当会議を通して情報共有と調整を図りながら、迅速に復旧事業を進めてまいります。

総務課防災安全室 29-1209



# 最上ミライ会議を開催しました



2月9日（土）、新庄市民プラザ大ホールにて、「平成30年度地域未来フォーラム～地域の未来を語り合おう 最上ミライ会議～」を開催しました。足元が悪く、寒い中での開催でしたが、地域の方々や高校生約170名が参加し、持続可能な最上地域の未来について互いに意見を述べ、共に考えました。

はじめに基調講演では、『持続可能な地域のための人材育成と幅広い世代による地域づくり』と題して、大正大学地域創生学部教授浦崎太郎氏からお話を頂きました。「全国では高校と地域の連携により、多くの高校生が地域に出て活動している。最上地域にはジモト

大学があり、“大人が高校生に学びの場”を与えているが、“大人と高校生が地域と一緒に創り上げていく”段階へ移行する局面にきている。今後ぜひ高校生が企画から実践まで参画できる場に進化して欲しい。」と全国の取り組みを紹介しながら、最上地域への期待が述べられました。

パネルディスカッションでは浦崎先生にコーディネートして頂きながら、戸沢村の「角川元気プロジェクト」のメンバー、新庄市北辰学区の「元気創出プロジェクト」に関わる山形大学の学生、課題解決の研究をしている新庄北高等学校と新庄東高等学校の生徒、ジモト大学の事務局「一般社団法人とらいあ」のメンバーがパネラーとなり、活動内容と成果を報告しました。意見交換では「楽しいから人が集まるという好循環を加速させたい」「子どもたちの笑顔が残るように活動を続けていきたい」「自分たちの活動をどのように発信していくかが課題と感している」などの意見が出されました。

連携支援室 29-1240

# 「地方発。HAPPYな仕事のつくり方講座」を開催しました

2月11日（月）、「万場町のくらし」にて、起業に関心のある若者・女性を対象に、県内で起業した方々の事例などを聞き、起業に向けたノウハウを学ぶ連続講座の第1回目が開催されました。

第一部では、(株)チェンジ・ザ・ワールド（酒田市）代表取締役 池田友喜さんをゲストに、地方で起業家として生きることについて、心構えや行動・実践するポイントを実体験を交えながら話してもらいました。

第二部では、先輩起業家として、「米香房 Gratia\*s（グラティアス）」（新庄市）高橋綾さん、「株式会社 hyoi（ヒョーイ）」（酒田市）代表取締役 CEO 渡邊輝さんによるトークライブを開催しました。起業のきっかけや、地方で起業するメリット・デメリット、将来の展望などを、語っていただき、参加者は熱心にうなずきながら



メモを取る様子が見られました。

質疑応答タイムでは、「起業にあたって誰に相談したのか？」「具体的に起業に踏み出そうと考えている参加者に対して小さくニーズ調査をする方法は？」などについてアドバイスをもらいました。参加者からは、「大変励まされた。D.O.（行動）で頑張りたいと思う」といった声が多数寄せられました。

第2回（3/3）、第2回（3/16）では、Webメディアの活用方法や価格設定について学びます。

地域産業経済課 29-1309

# プレルーキーズカレッジを開催しました

2月7日（木）、新庄市民プラザにおいて、4月からの新社会人生活をスムーズに、楽しく暮らしてもらうため、業種を超えた仲間「地域同期」づくりを行う「プレルーキーズカレッジ」を開催しました。

4月から社会人となる最上地域の高校3年生が53名参加し、先輩社会人10名を交えてのグループワークを行いました。

チームワーク体験等を通して、「チームで働く力」「つながりづくり」などについて理解を深め、社会人カアップと入社後の「働く自分」のイメージづくりのきっかけとなりました。



参加した高校生からは、「たくさんの人と交流できた」、「コミュニケーションやチームワークの大切さに気付いた」などの感想がありました。 地域産業経済課 29-1309



# 「もがみの農業を元気にする意見交換会」を開催しました

最上地域では、多くの農業経営者が活力ある農業経営を実践しています。農業のよさを農業経営者から直接、高校生に伝えてもらうため、2月15日（金）に新庄神室産業高等学校において「もがみの農業を元気にする意見交換会」を開催しました。生物生産科と生物環境科の1年生が、女性農業者も含めた若手農業者6名から各自の経営内容、農業に進んだきっかけや農業への思いなどを聞くとともに、農業者を困らせてグループ毎に意見交換を行い、さらに農業経営の実際ややりがいについて理解を深めました。

高校生に職業としての農業の魅力や魅力を直に伝えることで、将来、意欲を持って農業に参入し、持てる力を発揮してもらおうことを期待しています。 農業技術普及課 29-1322



## 「第3回最上小国川写真コンテスト」表彰式を開催しました



最上小国川清流未来振興機構では、最上小国川の大切さの再認識、未来に伝える機運の醸成のため、「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに「第3回最上小国川写真コンテスト」を開催しました。

最上小国川の魅力（最上小国川の風景、体験や思い出など）を撮影した写真を募集し、30名の方から91作品の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。

ご応募いただいた作品の中から入賞作品を決定し、2月26日（火）に、

舟形町中央公民館で表彰式を開催しました。入賞した作品については、最上小国川清流未来振興機構ホームページをご覧ください。

[\(http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/\)](http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/)

総務課連携支援室 29-1240



最優秀賞

作品名：静寂

入賞者：高橋秀一さん（新庄市）

## 「進路を考える学習会」を開催しました

2月7日（木）に新庄市立日新中学校（2年生111人）で、また、2月22日（金）には新庄市立萩野学園（8年生53人）で、医療・介護職に関する学習会を開催しました。日新中学校では薬剤師・看護師・作業療法士・介護福祉士の方々から、萩野学園では看護師・作業療法士・保健師・介護福祉士の方々から、具体的な仕事内容・やりがい等の講話をしていただいた後、仕事内容の体験も行いました。生徒の皆さんからは「知っていた職業のことをもっと詳しく知ることができたし、色々な体験を実際にやってみて医療職に関心を持った」「とても勉強になった。医療・介護の仕事に就くのもとても楽しく、やりがいがあると思った」といった感想があり、医療・介護職に興味を持ってもらえたようでした。

保健企画課 29-1256



## オールもがみ若者定着・人材確保推進会議、公開セミナー「ここで働きたい!」と思われる職場づくり

昨年5月に設立した「オールもがみ若者定着・人材確保推進会議」の第3回目となる会議を2月25日（月）に開催しました。さらなる若者定着・人材確保に向けてまとめた5つの視点に沿った事業を実施することを確認するとともに、4月以降の展開を円滑、効果的に展開するため、年間スケジュールを提案しました。

また同日、「『ここで働きたい!』と思われる職場づくり」と題して公開セミナーを開催しました。

（株）サニックス佐藤社長から事例発表、大正大学山中専任講師からご講演をいただき、学生インターンシップは採用だけでなく、社風や社員教育にも役に立つなど、インターンシップへの考え新たに充実したセミナーとなりました。

【今後の取組みの視点】

- 1 市町村、総合支庁等の取組みの共有化・連携の推進
- 2 若いときからのキャリア教育の充実
- 3 保護者の地元企業に対する理解の促進
- 4 企業の情報発信力強化・職場体験等の受入態勢の充実
- 5 若者が住みやすい環境の整備促進



地域産業経済課 29-1309

## 第2回最上地域女性農業者「あぐりカフェセミナー」で女性農業者が交流！

若手女性農業者の経営参画や仲間づくりを支援するため、平成 28 年度から「あぐりカフェセミナー」を開催しています。今年度第 2 回目のセミナーを、2 月 4 日（月）に「万場町のくらし」で開催し、管内の女性農業者 8 名が参加しました。

今年 10 月 1 日から実施される「消費税軽減税率制度」について学んだあと、天童市の「Yamagata goodies（やまがたぐッディース）」代表の結城こずえさんから、JAてんどうフレッシュミズ部会の取組みや、農水省「農業女子プロジェクト」メンバーとしての活動等についてお話しをお聞きしました。

参加者は、女性農業者のネットワークを作り、マルシェ等への共同出品や商品開発など、経営発展のための活動を行っていききたいと大いに盛り上がりました。



農業技術普及課 29-1326

## 「きのこ生産先進地視察研修会」を開催しました

2 月 13 日（水）、14 日（木）に、最上地域の若手きのこ生産者を中心に、福島県内のきのこ生産施設を視察してきました。

富士ソフト企画株式会社社会津営業所では、地域創生や農業の IT 化を目指している他、積極的に障がい者を雇用し、菌床しいたけ生産、乾燥シイタケ、ビン詰め加工品の開発など 6 次産業化にも取り組んでいました。また、シイタケ栽培では、温度、散水、換気などの作業を、IT を活用し自動化するための実験を行っていました。

菌床しいたけイノベーションセンター（郡山市）では、生産者の所得向上を図るため、昨年 10 月にシイタケの菌床センターとしいたけ生産者の研修施設を兼ね備えて稼働していました。特に、放射性物質対策として、培地にゼオライト（鉱物）を混合して、きのこに吸着しないようにしていたことが特徴的でした。

視察先のいずれの生産者も、地域にあった栽培方法を確立しており、研修会参加者も大いに刺激を受けた様子でした。

森林整備課 29-1347

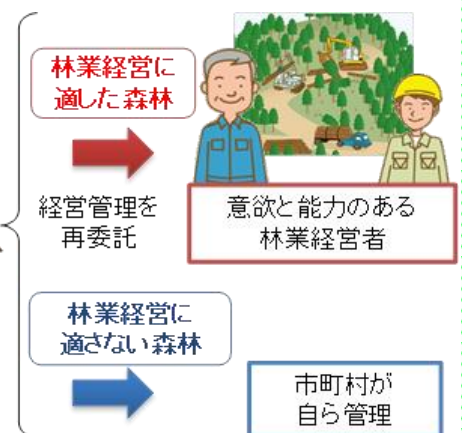


## 「新たな森林経営管理制度に関する研修会」を開催しました

平成 31 年度 4 月から新たな森林経営管理制度がスタートします。特にスギ林等の人工林を中心に、森林所有者に対し適切な経営や管理が求められ、それが困難な場合には、市町村や林業経営者等に森林の経営管理を委託することになります。この制度を進める上で、市町村担当者の理解を深めるために、2 月 20 日（水）に研修会を開催しました。

市町村は、初年度に森林所有者の意向調査を行い、集積計画及び実施権配分計画等を作成し、およそ 20 年後を目標に、経営管理が不十分な人工林等無くし、木材生産のほか、国土の保全、水源の涵養などの働きを十分に発揮できる山づくりを行います。

森林整備課 29-1348



# お知らせ

## もがみ雛めぐり2019 みんなで見に来てね!

新庄ふるさと歴史センター	2/16(土)～4/8(月)※休館日有
新庄まちなかひなめぐり	3/28(木)～4/3(水)
金山まちなか雛めぐり	4/3(水)
瀬見ひな祭り	3/31(日)～4/7(日)
舟形若あゆ温泉お雛様公開	2/14(木)～3/12(火)
真室川町差鍋地区 生涯学習センター 「まざれや」	3/1(金)～4/14(日)※予定
肘折温泉三春屋旅館お雛様公開	3月上旬～4/3(水)
羽根沢温泉雛めぐり	3/3(日)～4/3(水)
戸沢村三左衛門そばお雛様公開	3/26(火)～4/4(木)
	観光振興室 29-1312

## 第19回もがみ“ゆめりあ”産直フェア

最上地域の産直、農産加工組織など25団体が、山菜、野菜、加工品、花等の地域産品を販売します。



日時：3月9(土)、10(日)

2日間 10:00～15:00

場所：最上広域交流センター

ゆめりあ(新庄駅)

農業技術普及課 29-1331

## 野菜・山菜セミナー・果樹セミナーを開催

- ◆日時 3月6日(水) 13:30～16:00 (野菜・山菜)  
3月7日(木) 15:00～16:10 (果樹)

- ◆場所 産地研究室 2階会議室

最新の技術や知見を迅速に生産現場に移転するため、アスパラガス、トマト、たら芽、おうとうなどの研究成果を紹介します。産地研究室 22-2201

## 第84回「最上夜学」を開催します!!

若者の採用と定着について、最上夜学を開催します。企業の方はもちろん、一般の方も聴講できますのでお越しください。

日時：3月19日(火) 18:00～

場所：最上町中央公民館

講師：山形大学松坂暢浩准教授



産業経済課 29-1307

## 3月は自殺対策強化月間です

1年の疲れや環境の変化などのため、3月は心身の不調が起こりやすいものですが、本人が気づかない場合もあるようです。「元気ないけど、大丈夫?」「どうしたの?なんだか辛そうだけど…」お互いに声をかけてみませんか?心の健康相談も行っていますので、お気軽にご利用ください。

地域保健福祉課 29-1266

## 《最上管内献血日程》3月分

3月26日(火) 戸沢村役場

3月28日(木) ゆめりあ

詳細な時間等は保健企画課へ

お問い合わせください。皆様のご協力をお願いします。



保健企画課 29-1258

## ・～\*・～\*・～ 「たまりば・子ども食堂」食材提供のお願い ・～\*・～\*・～

「フリースペースまちかどカフェ たまりば」(運営：NPO 法人オープンハウスこんぺいとう)では、月2回程度「子ども食堂」を実施しています。子どもはもちろん、その家族や年配の方、いつもはひとりでご飯を食べている方が、地域の皆さんから提供いただいた食材をもとに、たまりばの仲間やボランティアの方と一緒に料理やおしゃべりをするなどして、大勢で食べています。子ども一人で来ても安心して過ごせる居場所となっています。メニューは毎回大好評!子どもたちの笑顔のために、皆さまからの食材のご提供をお待ちしています!

★3月の実施予定 3/15(金) 15:00～たまりば(新庄市若葉町1-4) ※毎月第3金曜日 たまりばにて開催!

★食材提供の申込み・問合せ先 電話 080-3144-3009(たまりば) 子ども家庭支援課 29-1245

発行日：平成31年3月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

HP (<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)

Twitter

